

講義名	経済学入門(商学部)			授業形態	
担当教員	辻 美代	開講期・曜日・時限	後期 月曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生
				ナンバリング・コード	ECN100
主題と概要					
私たちは新聞やテレビで毎日多くの経済問題に触れています。現在、国境を越えてモノ・ヒト・カネ・情報が行き交い、経済活動は一国内にとどまりません。経済活動はグローバルに展開しており、これら問題を理解するためには経済学の知識が必要です。 この講義では、経済の仕組みについて、基礎を学びます。毎回、日本または世界の経済ニュースに触れるようにし、興味関心を持ってもらいます。また、日本の経済発展を振り返り、現在直面する問題点を考えます。さらに、第二次世界大戦後に世界経済を拡大してきた自由貿易やグローバル化について学び、世界経済について考えます。					
到達目標					
経済学を初めて学ぶ者が経済学の考え方や概念を学ぶことによって、経済社会問題を理解するために必要な基礎知識が取得できるようになる。 ヒト・モノ・カネ・情報に国境がない現在、世界情勢に目を向ける姿勢を身につけることで、様々な事柄に対し、自分で考えることができるようになる。					
提出課題					
・授業中に課題を出し、次回授業時に提出してもらいます（数回予定）。 ・復習（確認）テストを行います（複数回予定）。					
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法					
・課題は次回授業時に解説します。 ・復習（確認）テストは授業中に講評・解説を行います。					
評価の基準					
課題の提出、復習（確認）テストおよび小テスト、期末試験を総合して評価します。 但し、状況に応じて評価の基準は変化することがあります。 ・課題提出・・・・・・・・・・・・・20点 ・確認テストおよび小テスト・・・・40点 ・期末試験・・・・・・・・・・・・・40点					
履修にあたっての注意・助言他					
普段から新聞やニュースなどで日本や世界の経済活動に関心を持ってください。毎日ニュースをフォローしてください。新聞、テレビ、ラジオ、携帯などニュース媒体は問いません。真面目に受講すること、授業中の私語、遅刻・途中退室などの妨害行為、迷惑行為は厳禁です。					
教科書					
.使用しない.					
参考図書					
.1からの経済学.		中谷武	顕学舎	2640	9784502680809
.日本経済を学ぶ.		岩田規久男	筑摩書房	825	9784480056023

その他	
授業中に新聞資料等を配布します。	
授業計画	
1.「経済」とは 予習内容：キャンパスクロスに事前に提示する講義資料を確認し、内容をまとめること また、講義資料に予習内容を指示することもあります（120分） 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること また、レポート課題が出た場合は、課題内容をまとめ、レポートを作成すること（120 分） 2.取引、市場、政府 予習内容：キャンパスクロスに事前に提示する講義資料を確認し、内容をまとめること また、講義資料に予習内容を指示することもあります（120分） 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること また、レポート課題が出た場合は、課題内容をまとめ、レポートを作成すること（120 分） 3.需要と供給、需要 予習内容：キャンパスクロスに事前に提示する講義資料を確認し、内容をまとめること また、講義資料に予習内容を指示することもあります（120分） 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること また、レポート課題が出た場合は、課題内容をまとめ、レポートを作成すること（120 分） 4.需要と供給、供給 予習内容：キャンパスクロスに事前に提示する講義資料を確認し、内容をまとめること また、講義資料に予習内容を指示することもあります（120分） 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること また、レポート課題が出た場合は、課題内容をまとめ、レポートを作成すること（120 分） 5.需要と供給、均衡 予習内容：キャンパスクロスに事前に提示する講義資料を確認し、内容をまとめること また、講義資料に予習内容を指示することもあります（120分） 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること また、レポート課題が出た場合は、課題内容をまとめ、レポートを作成すること（120 分） 6.市場の失敗と政府の役割 予習内容：キャンパスクロスに事前に提示する講義資料を確認し、内容をまとめること また、講義資料に予習内容を指示することもあります（120分） 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること また、レポート課題が出た場合は、課題内容をまとめ、レポートを作成すること（120 分） 7.市場の失敗と政府の役割 予習内容：キャンパスクロスに事前に提示する講義資料を確認し、内容をまとめること また、講義資料に予習内容を指示することもあります（120分） 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること また、レポート課題が出た場合は、課題内容をまとめ、レポートを作成すること（120 分） 8.これまでのまとめと小テスト（中間テスト） 予習内容：これまでの授業内容をしっかり復習すること（120分） 復習内容：テストで出来なかったところを調べ、理解を深めること（120 分） 9.国内総生産 予習内容：キャンパスクロスに事前に提示する講義資料を確認し、内容をまとめること また、講義資料に予習内容を指示することもあります（120分） 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること また、レポート課題が出た場合は、課題内容をまとめ、レポートを作成すること（120 分） 10.国内総生産 予習内容：キャンパスクロスに事前に提示する講義資料を確認し、内容をまとめること また、講義資料に予習内容を指示することもあります（120分） 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること また、レポート課題が出た場合は、課題内容をまとめ、レポートを作成すること（120 分）	
授業形態（アクティブ・ラーニング）	
☐ ア：PBL（課題解決型学習）	☐ イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
☐ ウ：ディスカッション、ディベート	☐ エ：グループワーク
☐ オ：プレゼンテーション	☐ カ：実習、フィールドワーク
☐ キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	
本講義を受講し学位を積み重ねることで、本学ディプロマ・ポリシーにある「知識を知恵に転換することができる」を達成することができるようになる。特に「現象や事実の中に隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定することができる」課題発見力の養成となる。	
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述	
実務経験の有無及び活用	
備考	